

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

調査結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的

- ア. 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ. 各教育委員会が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ. 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査実施時期 平成30年(2018年)4月～7月

(3) 調査対象 小学校5年生・中学校2年生の児童・生徒

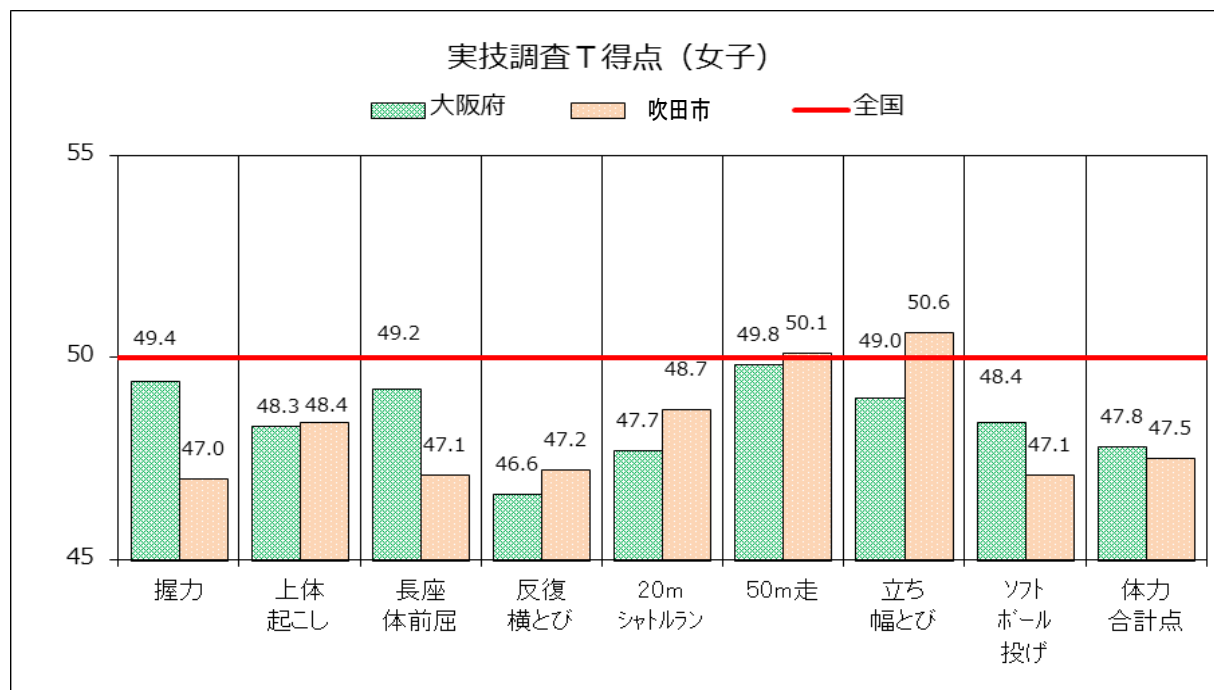
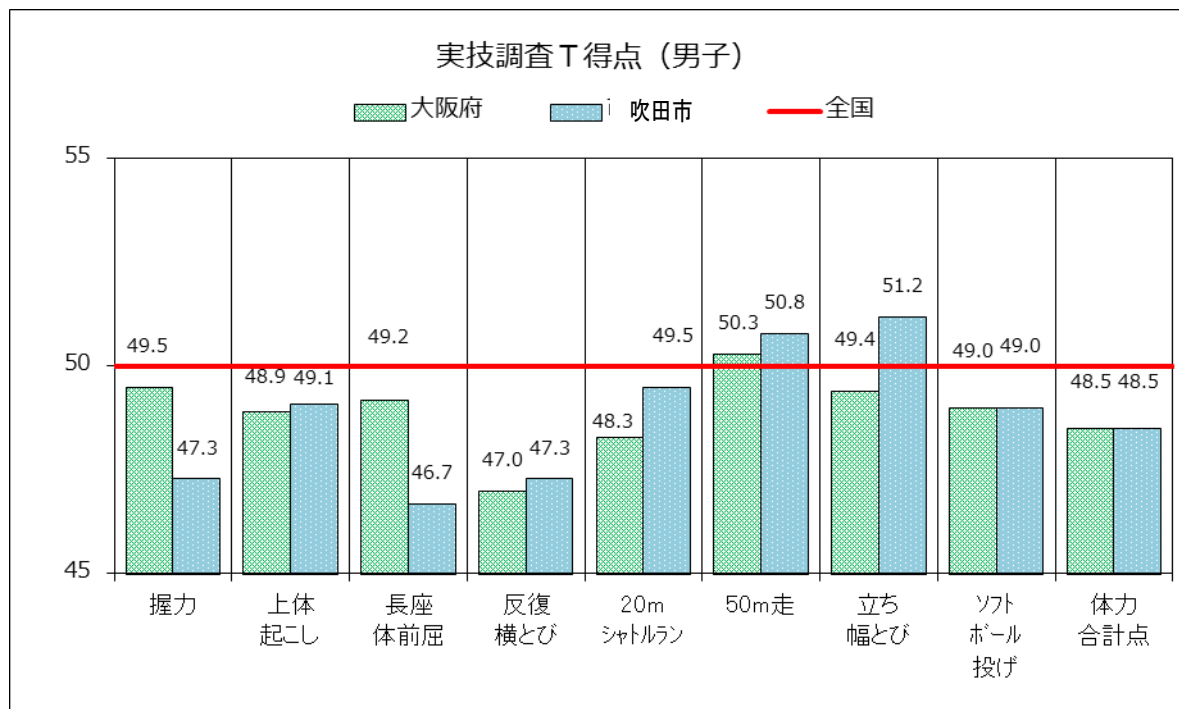
(4) 調査内容

- ア. 実技に関する調査 : 小学校【8種目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校【8種目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、20mシャトルラン、持久走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
(※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)
- イ. 質問紙調査 : 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査
- ウ. 学校に対する質問紙調査 : 子供の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

2. 実技調査の概要

【小学校5年生】

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より



（上のグラフは、調査の各種目について、全国値を50としたときの、大阪府と本市の児童・生徒の結果（Tスコア）を表したものです。）

《全国値比較》全国値を５０としたときの、本市の児童・生徒の結果（Ｔスコア）で比較。

男子

- ・５０ｍ走・立ち幅とびは、やや上回っている。
- ・２０ｍシャトルランはほぼ同じ。
- ・上体起こし・ソフトボール投げは、やや下回っている。
- ・握力・長座体前屈・反復横とびは、下回っている。
- ・体力合計点は、４８．５（全国値５０）でやや下回っている。
（昨年度は４８．４）

女子

- ・立ち幅とびは、やや上回っている。
- ・５０ｍ走は、ほぼ同じ。
- ・上体起こし・２０ｍシャトルランは、やや下回っている。
- ・握力・長座体前屈・反復横とび・ソフトボール投げは、下回っている。
- ・体力合計点は、４７．５（全国値５０）で下回っている。
（昨年度は４８．０）

Ｔスコアの判断基準

± ０．５・・・ほぼ同じ

± ２・・・やや上回っている・
やや下回っている

± ２より上・・・上回っている・
下回っている

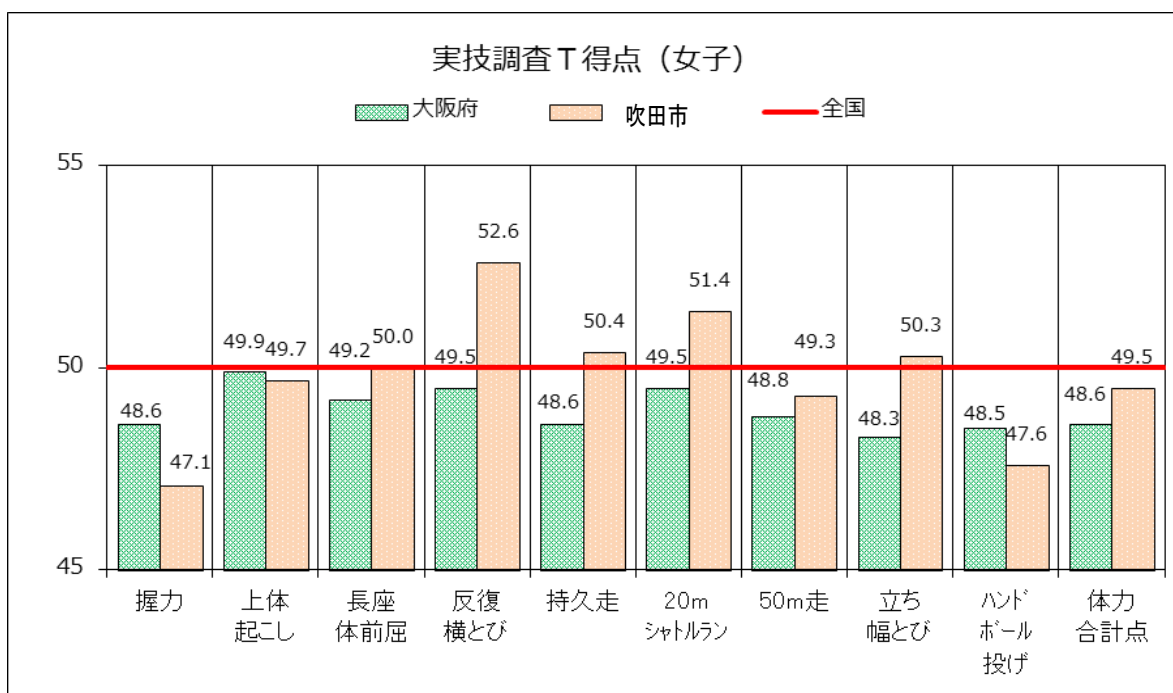
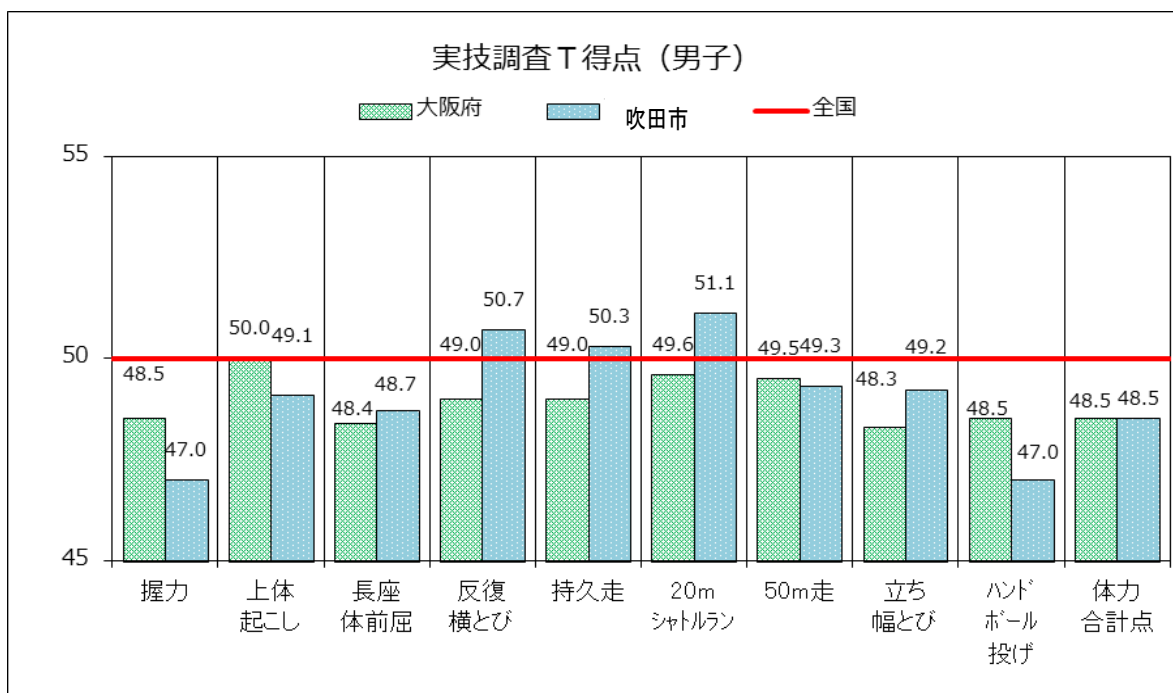
※参考 平成３０年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

（ ）内はＴスコア

小学校 ５年男子	握力【kg】	上体起こし 【回】	長座体前 屈【cm】	反復横とび 【点】	20mシャト ルラン【回】	50m走【秒】	立ち幅とび 【cm】	ソフトボー ル投げ【m】	体力合計 点【点】
全国	16.54 (50)	19.95 (50)	33.31 (50)	42.10 (50)	52.15 (50)	9.37 (50)	152.24 (50)	22.15 (50)	54.21 (50)
大阪府	16.36 (49.5)	19.31 (48.9)	32.67 (49.2)	39.72 (47.0)	48.64 (48.3)	9.34 (50.3)	150.97 (49.4)	21.33 (49.0)	52.82 (48.5)
吹田市	15.52 (47.3)	19.43 (49.1)	30.64 (46.7)	39.91 (47.3)	51.02 (49.5)	9.29 (50.8)	154.96 (51.2)	21.30 (49.0)	52.83 (48.5)
H29 吹田市	15.25 (46.6)	19.54 (49.4)	31.43 (47.9)	40.75 (48.5)	50.23 (49.0)	9.39 (49.8)	153.32 (50.7)	21.09 (48.2)	52.71 (48.4)

小学校 ５年女子	握力【kg】	上体起こし 【回】	長座体前 屈【cm】	反復横とび 【点】	20mシャト ルラン【回】	50m走 【秒】	立ち幅とび 【cm】	ソフトボー ル投げ【m】	体力合計 点【点】
全国	16.15 (50)	18.96 (50)	37.62 (50)	40.32 (50)	41.88 (50)	9.60 (50)	145.94 (50)	13.77 (50)	55.90 (50)
大阪府	15.92 (49.4)	18.04 (48.5)	36.97 (49.2)	37.87 (46.6)	38.10 (47.7)	9.62 (49.8)	143.90 (49.0)	13.00 (48.4)	53.97 (47.8)
吹田市	15.01 (47.0)	18.12 (48.4)	35.19 (47.1)	38.27 (47.2)	39.75 (48.7)	9.60 (50.1)	147.19 (50.6)	12.39 (47.1)	53.75 (47.5)
H29 吹田市	14.83 (46.6)	18.69 (49.8)	36.11 (48.4)	38.74 (48.2)	39.56 (48.8)	9.62 (49.9)	146.96 (50.7)	12.40 (46.8)	53.98 (48.0)

【中学校 2 年生】
平成 3 0 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より



(上のグラフは、調査の各種目について、全国値を 5 0 としたときの、大阪府と本市の児童・生徒の結果 (Tスコア) を表したものです。)

《全国値比較》全国値を５０としたときの、本市の児童・生徒の結果（Ｔスコア）で比較。

男子

- ・反復横跳び・２０ｍシャトルランは、やや上回っている。
- ・持久走は、ほぼ同じ。
- ・上体起こし・長座体前屈・５０ｍ走・立ち幅跳びは、やや下回っている。
- ・握力・ハンドボール投げは、下回っている。
- ・体力合計点は、４８．５（全国値５０）でやや下回っている。
（昨年度は４８．１）

Ｔスコアの判断基準

± 0.5・・・ほぼ同じ

± 2・・・やや上回っている・

やや下回っている

± 2より上・・・上回っている・

下回っている

女子

- ・反復横跳びは、上回っている。
- ・２０ｍシャトルランは、やや上回っている。
- ・上体起こし・長座体前屈・持久走・立ち幅跳びは、ほぼ同じ。
- ・５０ｍ走は、やや下回っている。
- ・握力・ハンドボール投げは、下回っている。
- ・体力合計点は、４９．５（全国値５０）でほぼ同じ。
（昨年度は５０．５）

※参考 平成３０年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

（ ）内はＴスコア

中学校 ２年男子	握力【kg】	上体起こし【回】	長座体前屈【cm】	反復横とび【点】	持久走【秒】	20mシャトルラン【回】	50m走【秒】	立ち幅とび【cm】	ハンドボール投げ【m】	体力合計点【点】
全国	28.84 (50)	27.36 (50)	43.44 (50)	52.24 (50)	392.65 (50)	86.06 (50)	7.99 (50)	195.62 (50)	20.55 (50)	42.32 (50)
大阪府	27.77 (48.5)	27.34 (50.0)	41.69 (48.4)	51.42 (49.0)	399.31 (49.0)	85.06 (49.6)	8.03 (49.5)	190.80 (48.3)	19.69 (48.5)	40.83 (48.5)
吹田市	26.70 (47.0)	26.78 (49.1)	42.10 (48.7)	52.79 (50.7)	390.53 (50.3)	88.66 (51.1)	8.05 (49.3)	193.31 (49.2)	18.82 (47.0)	40.76 (48.5)
H29 吹田市	26.96 (47.3)	26.68 (48.8)	41.44 (48.3)	52.80 (51.1)	392.36 (49.8)	87.06 (50.4)	8.15 (48.2)	191.60 (49.0)	19.28 (47.7)	40.17 (48.1)

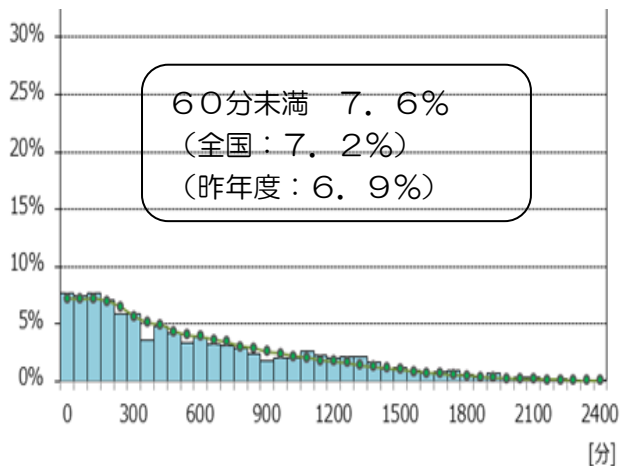
中学校 ２年女子	握力【kg】	上体起こし【回】	長座体前屈【cm】	反復横とび【点】	持久走【秒】	20mシャトルラン【回】	50m走【秒】	立ち幅とび【cm】	ハンドボール投げ【m】	体力合計点【点】
全国	23.87 (50)	23.87 (50)	46.22 (50)	47.37 (50)	286.85 (50)	59.87 (50)	8.78 (50)	170.26 (50)	12.98 (50)	50.61 (50)
大阪府	23.21 (48.6)	23.79 (49.9)	45.42 (49.2)	47.05 (49.5)	292.97 (48.6)	58.91 (49.5)	8.88 (48.8)	166.11 (48.3)	12.33 (48.5)	49.07 (48.6)
吹田市	22.52 (47.1)	23.67 (49.7)	46.24 (50.0)	49.14 (52.6)	285.15 (50.4)	62.65 (51.4)	8.84 (49.3)	170.97 (50.3)	11.96 (47.6)	50.03 (49.5)
H29 吹田市	23.04 (48.3)	23.43 (49.5)	46.57 (50.7)	48.53 (52.6)	281.64 (51.3)	62.53 (51.7)	8.87 (49.2)	171.22 (51.1)	12.44 (48.7)	50.50 (50.5)

3. 児童生徒質問紙調査の概要

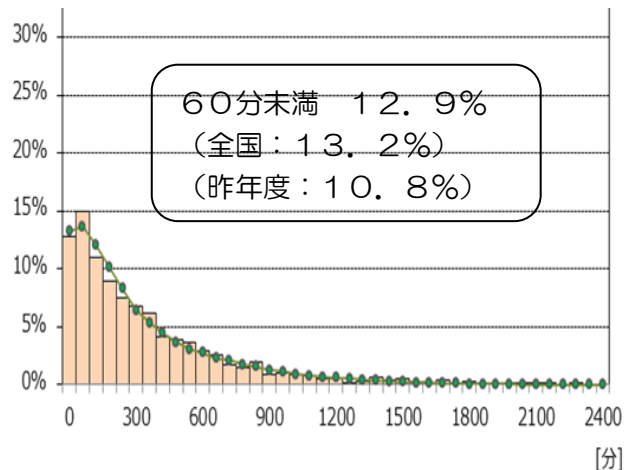
1 週間の総運動時間の状況

※折れ線グラフは全国の分布

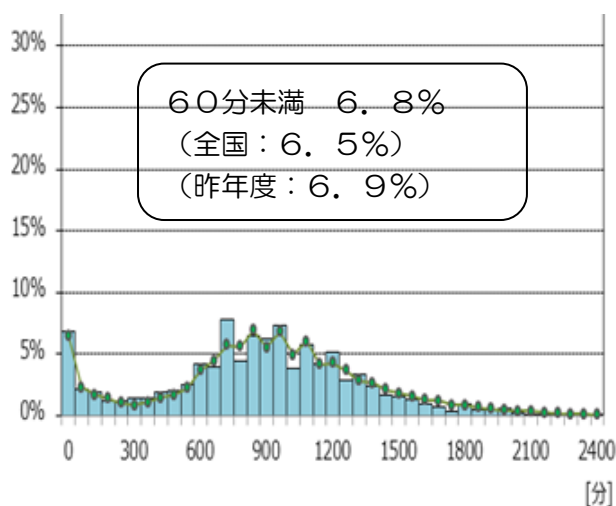
【小学校5年生 男子】



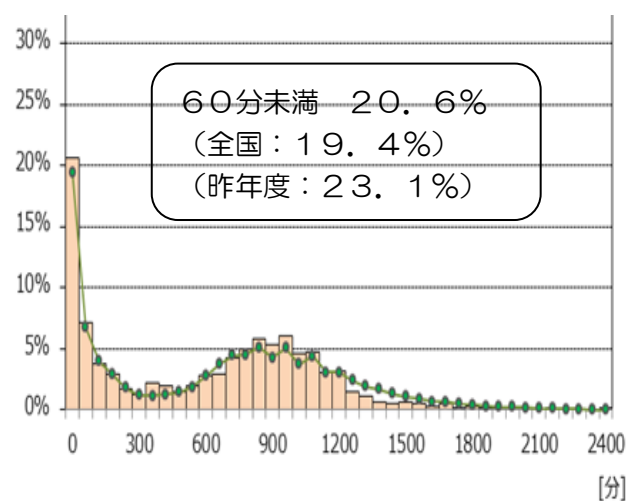
【小学校5年生 女子】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】



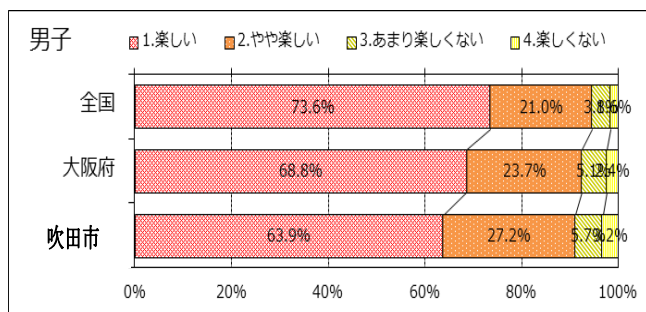
☆「1 週間の総運動時間」と「体力合計点」の関係（数値は体力合計点の平均点）

	0分	1～60分 未満	1～3.5時間 未満	3.5～7時間 未満	7～14時間 未満	14時間 以上
小5 男子	43.1	45.4	47.5	51.5	53.4	58.5
小5 女子	47.3	49.2	50.6	54.5	57.1	60.2
中2 男子	30.1	31.2	32.7	36.6	39.9	43.4
中2 女子	41.2	43.1	45.2	47.0	51.6	55.8

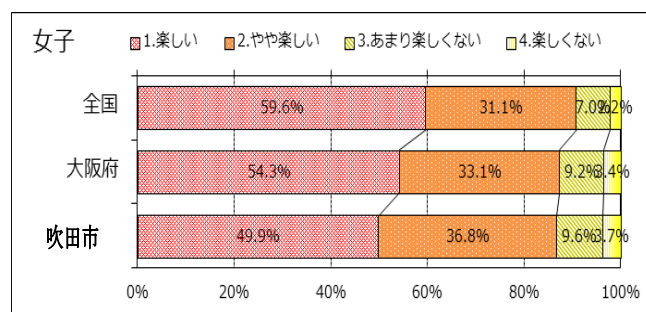
- ・吹田市における1週間の総運動時間の分布は全国とほぼ同じであり、中学校では総運動時間に顕著な二極化が見られる。特に中学校女子は総運動時間60分未満の割合が高い。
- ・1週間の総運動時間と体力合計点の平均値との関係から、総運動時間が高いほど、体力合計点も高くなる傾向があり、運動時間の少ない子どもたちに対する働きかけが、児童・生徒の体力向上にとっての大きなポイントであるといえる。

体育・保健体育の授業は楽しい

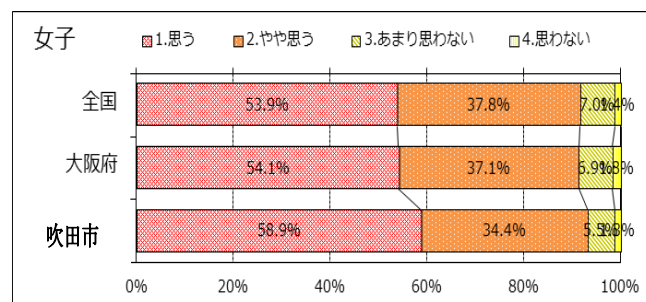
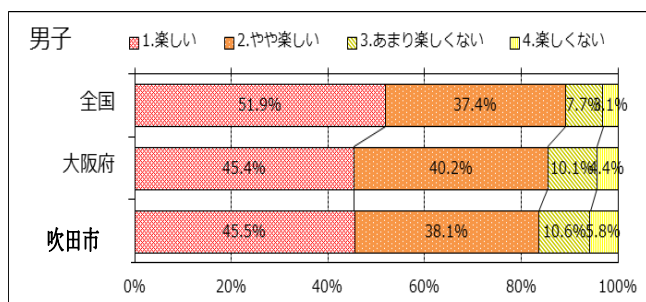
【小学校 5 年生】



※ 小学校は「体育」、中学校は「保健体育」

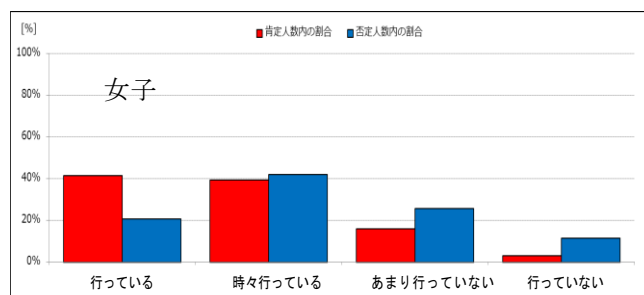
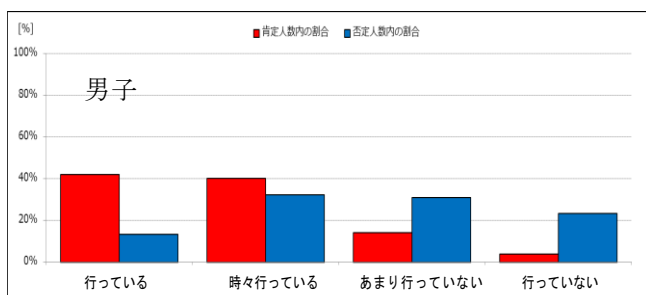


【中学校 2 年生】



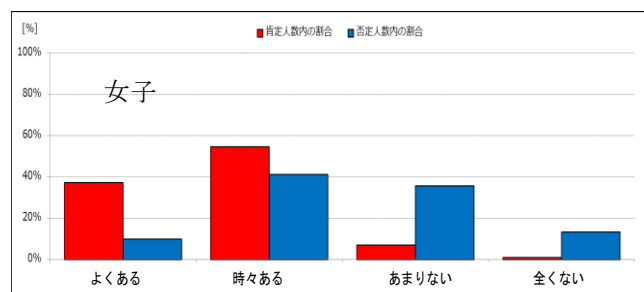
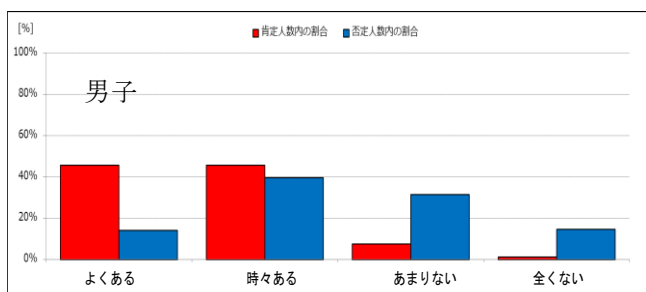
☆「体育の授業は楽しい」の回答と「課題を解決する活動」（小学校）の回答との関係

【小学校 5 年生】



☆「保健体育の授業は楽しい」の回答と「『できる』もしくは『分かる』ようになった」（中学校）の回答との関係

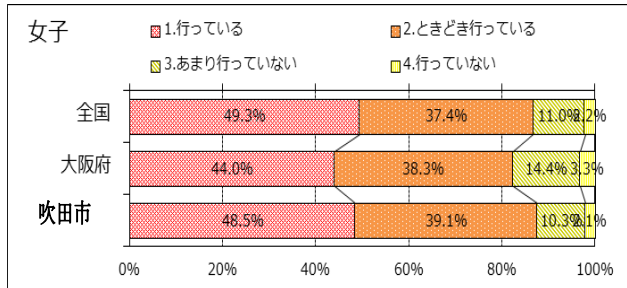
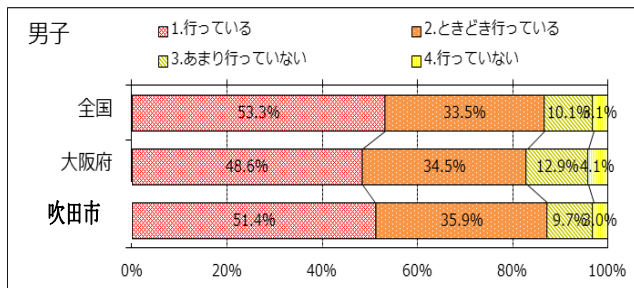
【中学校 2 年生】



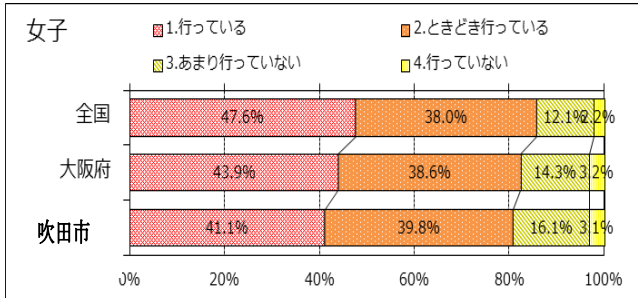
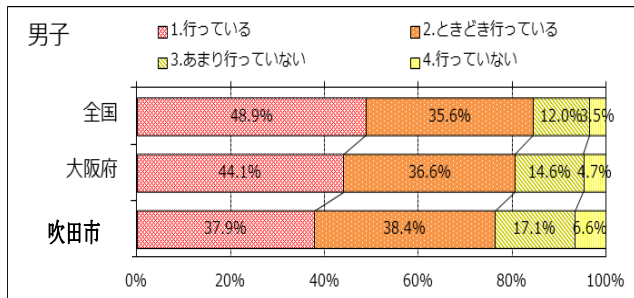
- ・「体育・保健体育の授業は楽しい」の質問に対して、肯定的回答をする児童・生徒は、小学校・中学校ともに80%を超えている。特に中学校女子は全国・大阪府より高く、90%を超えている。
- ・「体育・保健体育の授業は楽しい」の肯定的回答と「課題を解決する活動」「『できる』もしくは『分かる』ようになった」の肯定的回答に相関関係が見られる。自分で練習の場を選択する活動や、話し合いや助け合いの活動等をとおして、できた達成感を味わわせるとともに、新たな課題への挑戦へつなげることを意識した授業づくりが大切である。

体育・保健体育の授業で話し合う活動を行っている

【小学校 5 年生】

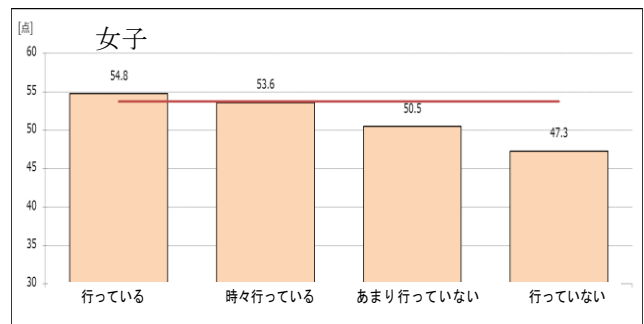
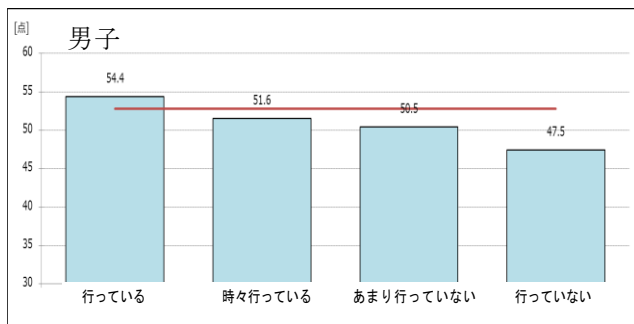


【中学校 2 年生】

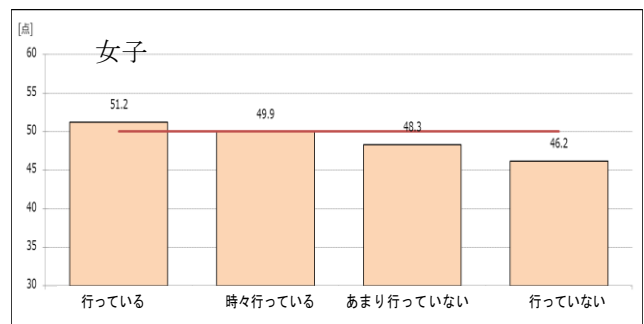
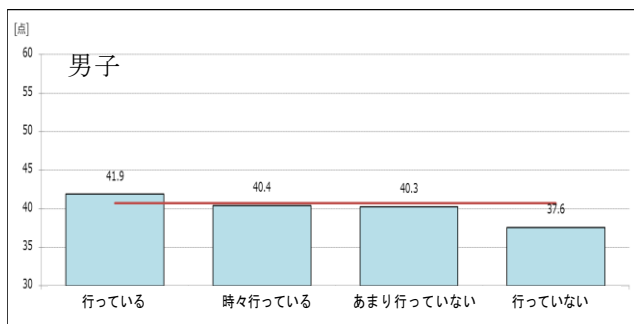


☆「体育・保健体育の授業で話し合う活動」の肯定・否定に対する回答と「体力合計点」の関係

【小学校 5 年生】



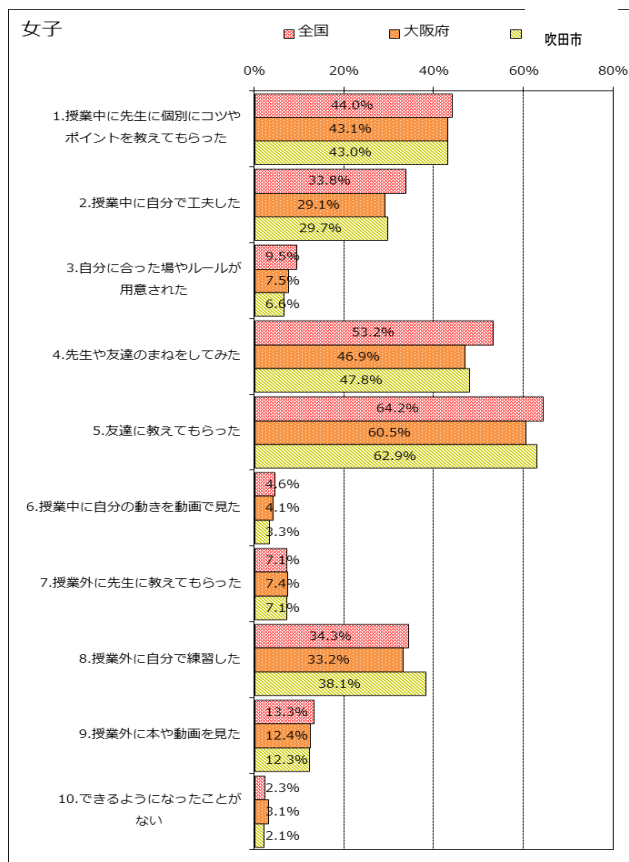
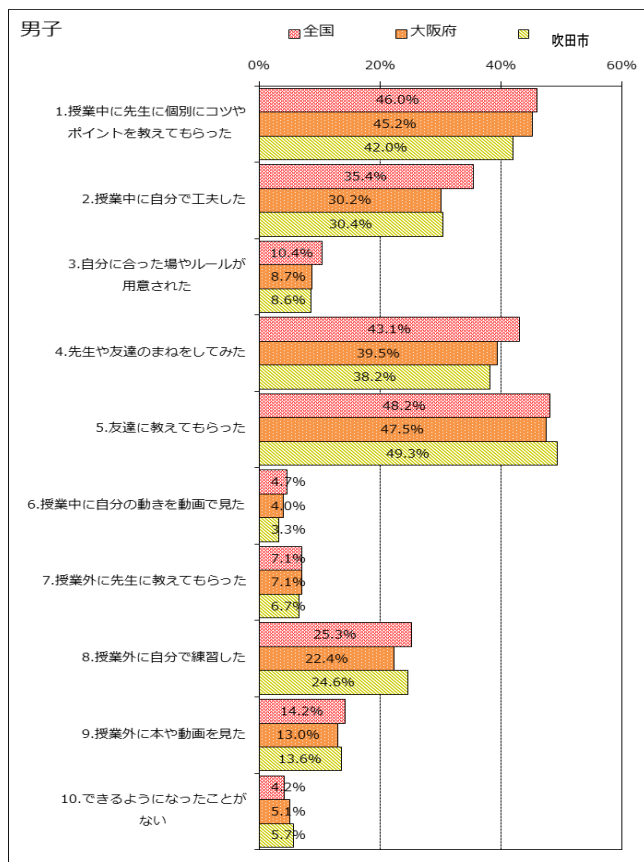
【中学校 2 年生】



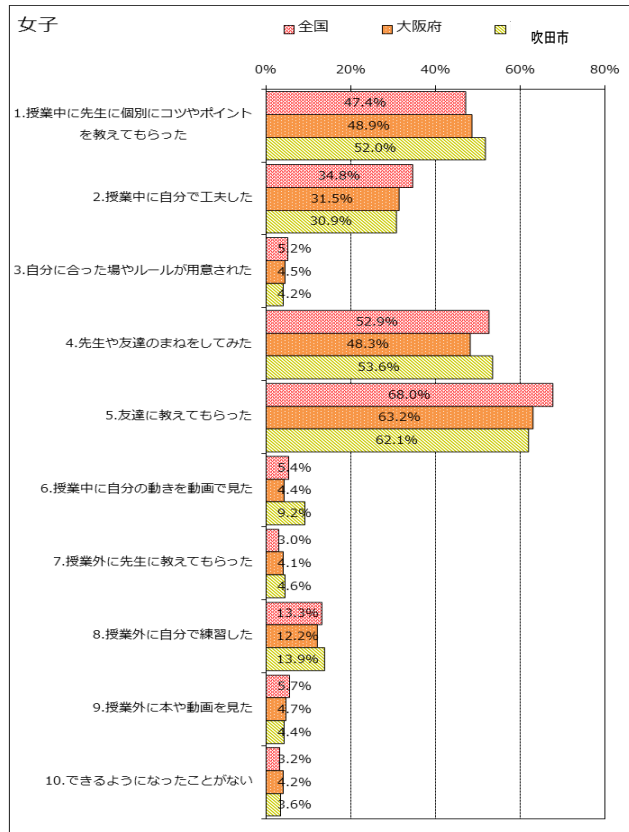
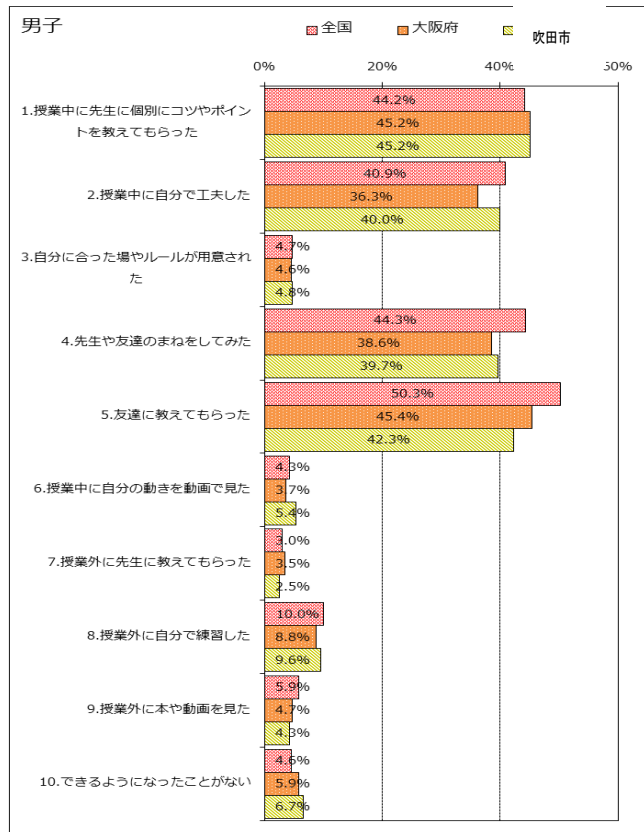
- ・「体育・保健体育の授業で話し合う活動」の質問に対して、小学校では肯定的な回答が男女ともに全国とほぼ同じであるが、中学校ではやや下回っている。
- ・「体育・保健体育の授業で話し合う活動」と「体力合計点」に相関関係が見られる。
- ・体育・保健体育の授業において、「できなかったことができるようになった」きっかけに「友だちに教えてもらった」という回答が小・中学校ともに割合が高いことから、今後も児童・生徒にとって効果的な話し合いができていくか、という視点を持って授業づくりに取り組む必要がある。

「できなかったことができるようになった」きっかけ

【小学校5年生】

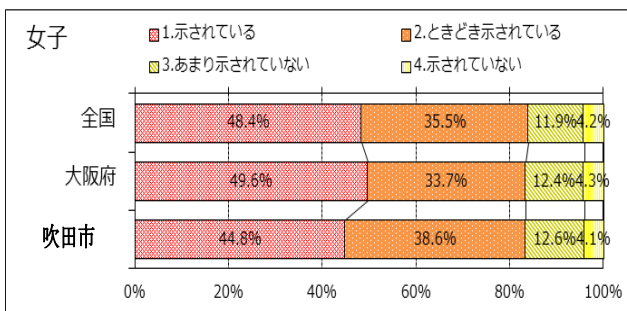
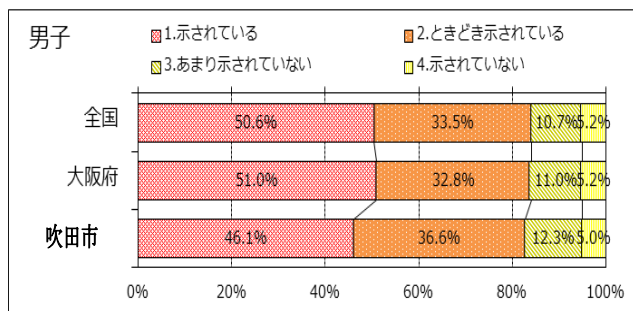


【中学校2年生】

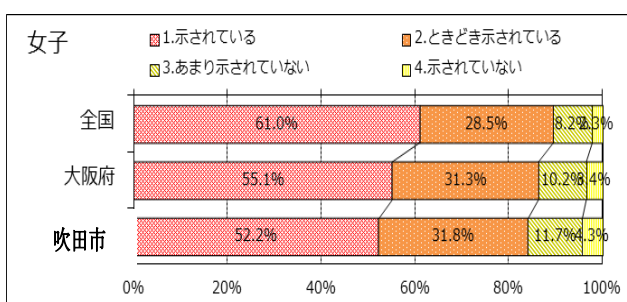
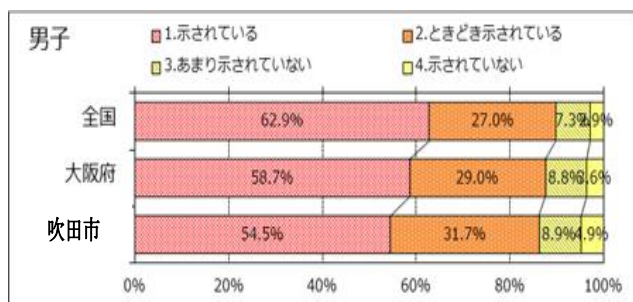


体育・保健体育の授業の目標が示されている

【小学校 5 年生】

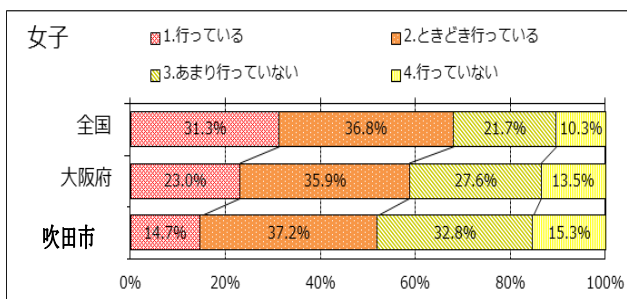
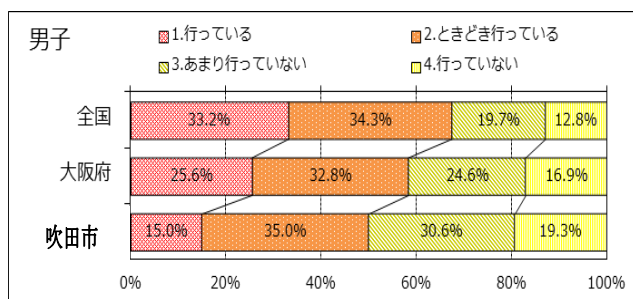


【中学校 2 年生】

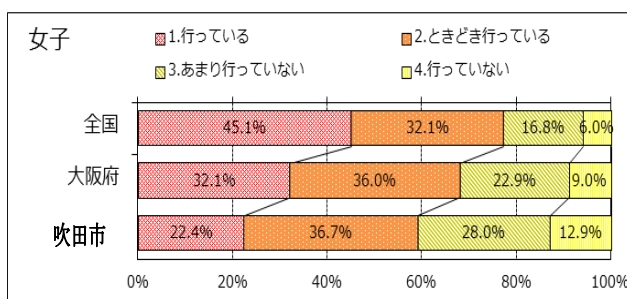
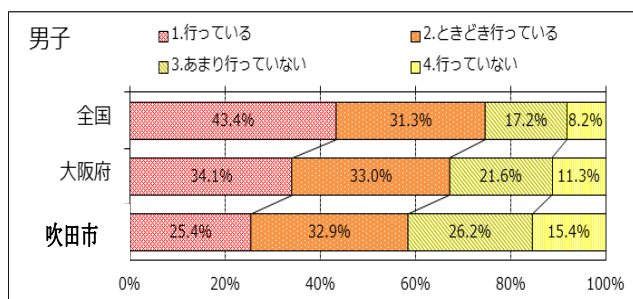


体育・保健体育の授業で振り返る活動を行っている

【小学校 5 年生】



【中学校 2 年生】



・「体育・保健体育の授業の目標が示されている」の肯定的回答は、小学校・中学校ともに全国とほぼ同じであるが、「体育・保健体育の授業で振り返る活動を行っている」の肯定的回答は小学校・中学校ともに全国を下回っている。目標で示した育てたい力の定着を図るために、振り返りの時間を確実に確保し、活動を言語化する等、学びを深める取組が必要である。

4. 今後の方針

調査結果から、児童・生徒の体力は運動に対する意識調査や運動習慣と相関関係があり、学校における体育・保健体育の指導とのつながりも見られます。全市的な傾向・課題を踏まえると、子供たちの体力向上を図るためには、教員の指導力の向上が必要であり、教育委員会として「体力向上につながる主な視点」を以下に示します。

体力向上につながる主な視点

①体育・保健体育の授業づくり

- 運動の楽しさやできる喜びを体感できるようにする。
- タブレット等ＩＣＴ機器を効果的に活用する。

②体育・保健体育の授業の質的向上

- 授業の始めに目標(めあて・ねらい)を明確にし、学習の内容を振り返る時間を確保し、活動を言語化する等学習成果を実感できる機会を設ける。
- 先生と子供同士の関わり(助け合い・話し合い)を深め学習を進める。
- 授業における運動量を確保する。
- 若手教職員への実技研修会の機会を増やす。
(初任者研修として参加する「副読本説明会」の公開授業・実技研修を副読本を活用した授業づくりに活かす。)

③体育・保健体育の授業の研究と実践【研究の視点】

- 課題を見出し、課題克服のために考察する。
- 課題達成に向けて自ら取組む姿勢を醸成する。
- 体力・運動能力向上の目標を設定し、苦手な児童に応じた指導・手だてを工夫する。

④運動の習慣化、生活化へとつながる実践

⑤「体力づくり推進計画」を策定する等各校の体力向上ＰＤＣＡサイクルの確立



**生涯にわたって豊かなスポーツライフを
実現する資質や能力の育成**

今後も、学校が「体力向上につながる主な視点」をもとに、日々の体育・保健体育の授業での実践や授業研究等、体力向上の取組を進めるとともに、家庭・地域と手を携えながら体力向上に向けた教育活動の充実・発展を図ることができるよう、教育委員会として支援してまいります。

平成31年(2019年)3月